

SYLLABUS

2024



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

基礎分野

授業計画

基礎分野は、専門基礎分野・専門分野の基礎となる分野で、看護に欠かせない科学的根拠の基盤や、人間関係構築の基盤となる重要な科目を総計 14 科目（14 単位）で構成しています。科学的思考の基盤を構成する科目では、看護を科学的に客観的に、系統的に考えるための基本的知識と、思考を整理する方法や情報を適切に活用するための方法を学びます。また、人々の多様な価値観や生活を理解するため、人間と生活・社会の理解を構成する科目においては社会学、文化人類学をとおして社会の中に暮らす人間を理解します。心理学、看護生物学では個としての人間を理解します。また感性の哲学、人間関係論、医療英語、スポーツ生理学をとおしては人々との人間関係を構築するための看護者としてのコミュニケーション能力を高めるための基本的知識を身につけます。

科目区分	基礎分野	科目名	論理学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	野村 文宏	実務経験 関連資格	別府大学 文学部 史学・文化財学科 教授		
目 的	論理学を学び、ものごとを筋道立てて考察し理解する方法を学ぶ。次に、批判的視点・思考（クリティカルシンキング）の重要性を理解し、そのための技法を学ぶ。最後に、論理学や批判的思考において学んだことを、レポートや論文において表現するための①基本的姿勢や②具体的技法について理解し学ぶ。				
目 標	1. 論理学について、基本的な事項を理解する。 2. クリティカルシンキングおよび批判への視点を理解する。 3. 論文やレポートを書く際の、基本的姿勢と具体的注意事項について理解する。				DPへの対応 DP3 DP1,2,5 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準備学習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	論理学で何を学ぶかを理解する。	配布資料 パワーポイント	論理学とはどのような学問なのか、辞書で調べるなどして考えてみよう	
	授業予定	ガイダンス ・イントロダクション：論理の基本についての講義 ・論理学とはどのような学問分野でありこの講義で何を何のために学ぶのかを理解する。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	さまざまな接続関係について、論理的観点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業内容	論理学 ・さまざまな接続関係について			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	接続の構造について、論理的観点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業予定	論理学 ・接続の構造について			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	議論の組み立てについて、論理的観点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業予定	論理学 ・議論の組み立てについて			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	論証の構造について、論理的観点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業予定	論理学 ・論証の構造について			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	推測と演繹について、論理的観点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業予定	論理学 ・推測と演繹について			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	クリティカルシンキングと批判の視点の大切さについて理解する	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと	
	授業予定	クリティカルシンキングについて学ぶ ・クリティカルシンキングとは何か。批判の視点の大切さ			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	議論の明確化について、クリティカルシンキングの視点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解	
	授業予定	クリティカルシンキング			

		・議論の明確化について		き授業に臨むこと
第 9 回 〔講義〕	到達目標	隠れた前提について、クリティカルシンキングの視点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	クリティカルシンキング ・隠れた前提について		
第 10 回 〔講義〕	到達目標	根拠の確かさについて、クリティカルシンキングの視点から理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	クリティカルシンキング ・根拠の確かさについて		
第 11 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際の、問題をつかむことの大切さを理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	論文・レポートを書く（ロジカルライティング） ・問題をつかむ		
第 12 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際の、組み立て方、構成の仕方について理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	論文・レポートを書く（ロジカルライティング） ・論文・レポートを組み立てる		
第 13 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際、具体的に注意すべき事項について理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	論文・レポートを書く（ロジカルライティング） ・具体的に注意すべきこと 1		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際、具体的に注意すべき事項について理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習問題を復習しておくこと ・宿題・課題を解き授業に臨むこと
	授業予定	論文・レポートを書く（ロジカルライティング） ・具体的に注意すべきこと 2		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：終講筆記試験 100%、60%未滿は再試験とする。		
使用教材	テキスト	教科書は使用しません。授業内でプリントを配布します。		
	参考図書	山田ズーニー『伝わる・揺さぶる!文章を書く』（PHP 新書） 渡辺健介『世界一やさしい 問題解決の授業』（ダイヤモンド社）		
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外の学習方法		講義内容や練習問題を復習し、宿題・課題がある場合は自分で解いて授業に臨むこと。		
履修上の留意点		論理的な力は知識ではなく練習問題（トレーニング）を通じてしか向上しません。講義内で出される課題に意欲的に取り組んでください。		

科目区分	基礎科目	科目名	教育学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	伊藤 安浩	実務経験 関連資格	大分大学 教育学部 教授		
目 的	人間が社会的存在として成立するために、必要な不可欠な営為である教育について理解し、人間を対象とする看護を 実践していくための基礎的知識を学ぶ。				
目 標	1. 人間の成長・発達や学習に関する教育学の意義について理解する。 2. 教育とは何か、教育の対象と必要性、教育の内容、教育の方法、教育の評価に関する基礎 を理解する。 3. 教育に関する自分の考えを確立し、看護活動に活用する。				DPへの対応 DP1,2 DP3,5 DP4,6
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	教育学を学ぶ意義について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	ガイダンス 教育学を学ぶ意義について説明する。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	現代社会における教育の現状を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業内容	現代社会における教育の現状を説明する。			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	教育の語源と定義を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	教育の語源と定義を説明する。			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	教育の法的基盤を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	教育の法的基盤を説明する。			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	誕生直後の人間の姿に見る教育の意義を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	誕生直後の人間の姿に見る教育の意義を説明する。			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	人間の成長・発達と教育の関係について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	人間の成長・発達と教育の関係について説明する。			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	生涯学習の意義について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	生涯学習の意義について説明する。			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	教育評価の目的について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	教育評価の目的について説明する。			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	教育評価の方法～集団準拠評価、目標準拠評価、個人内評価 ～について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	教育評価の方法～集団準拠評価、目標準拠評価、個人内評価 ～について説明する。			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	教育評価の方法～自己評価、相互評価、他者評価～について 理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	教育評価の方法～自己評価、相互評価、他者評価～について 説明する。			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	家族と人間の成長・発達の関係について理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	家族と人間の成長・発達の関係について説明する。			
第 12 回 〔講義〕	到達目標	アメリカの家族との比較から、日本の家族の特徴を理解す る。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	アメリカの家族との比較から、日本の家族の特徴を説明す る。			
第 13 回 〔講義〕	到達目標	歴史的に見た日本の家族の特徴を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	歴史的に見た日本の家族の特徴を説明する。			
第 14 回 〔講義〕	到達目標	テクノロジーの進歩に伴う家族像の変化を理解する。		配布資料	課題にきちんととり くんでください。
	授業予定	テクノロジーの進歩に伴う家族像の変化を説明する。			
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)			
成績評価の基準と方法	基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。				

		方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。
使用教材	テキスト	
	参考図書	系統看護学講座 基礎分野 教育学
	その他	
授業以外の学習方法	看護師は、自分自身を常に振り返りながら研鑽し向上していかなければなりません。さらに、患者や家族に対して、指導や助言が必要となり、教育者としての役割も担っています。教育とは、看護とは、自分の考えをもてるようになりましょう。	
履修上の留意点	看護と教育の関連について注目しながら、常に「なぜ?」と考えながら授業を受けましょう。	

科目区分	基礎分野	科目名	看護物理学	単 位	1単位
対象学年	1年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	小林 正	実務経験 関連資格	大分大学 名誉教授		
目 的	看護技術の原理や原則を理解するための基礎を学ぶ。				
目 標	身近な現象を通して看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する物理学の原理を理解する。			DP への対応	
				DP3	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業予定	1. 物理学とは 看護への物理学の応用・・・看護物理学 2. 数学の準備 ：度(degree)と弧度(radian) 三角関数 sin cos tan 3. スマホの関数電卓機能による各種計算問題の演習と宿題 宿題：度・弧度の変換 三角関数の計算とグラフ表示			
第 2 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業内容	4. 物理量とは スカラー量とベクトル量 5. 国際 (SI) 単位系 基本単位と組立単位 SI 接頭語 (キロ・ミリ) 6. 質量 (k g) と重さ (k g 重)			
第 3 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業予定	7. 力の合成と分解 三角関数の応用 演習問題 8. 体位と体位変換への力学の応用 9. MKS と CGS 単位系の換算 力 N(ニュートン)と dyn (ダイン)			
第 4 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業予定	10. トルク (力のモーメント) と「てこ」の原理 11. トルクと体位変換 看護への応用 12. 仕事とエネルギー (J、cal、erg) 仕事率 (W(ワット)) の演習問題			
第 5 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業予定	13. 重心 重心位置の計算 14. 安定の条件 (倒れない条件) 重心線 支持基底面 応用			
第 6 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。	
	授業予定	15. 運動量と撃力 定義と計算 身体ケアへの応用			

		16. 力のつりあい 牽引と身体ケアについて	義の前に提出)	
第 7 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	17. 作用 反作用の力 と つりあいの力 看護への応用 18. 摩擦力と摩擦係数 看護と摩擦		
第 8 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	19. 熱力学 ：温度・比熱 水の状態変化 融解熱・気化熱の問題 20. 看護における冷罨法と温罨法 水の状態変化と計算問題 21. 体熱の産生・喪失のバランス 伝導・対流・放射での熱の移動		
第 9 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	22. 看護における電気 電流・電圧・抵抗 オームの法則 直流と交流 直列・並列回路 演習問題 23. 安全電気 電撃：マクロショックとマイクロショック 24. 電力と電力量の計算		
第 10 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	25. 看護における圧力 ：胃洗浄とサイホン 血圧 ポンベの圧力 単位の変換 ： Pa kg(重)/cm ² mmHg cmH ₂ O Torr atm		
第 11 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	26. ネブライザーの原理 動圧と側圧 27. 流体： 連続の式 ベルヌーイの式 28. 毛細管現象 表面張力 濡れの現象と界面活性剤		
第 12 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	29. 血圧測定と音の関係 30. 起立性低血圧 31. 血圧測定に関する注意事項とその根拠		
第 13 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	32. 胸腔内圧と低圧持続吸引 33. 水封びんと圧制御びんの働き		

第 14 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや検査・治療・処置に関する原理を理解する。	教材提示装置による講義、演習、宿題(次回講義の前に提出)	事前課題にしっかりと取り組み、授業に臨みましょう。
	授業予定	34. 酸素ポンベ と その取り扱い 35. ボイルの法則 シャルルの法則 ボイル・シャルルの法則		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		<p>基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。</p> <p>方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。課題レポート(ほぼ毎回)と終講時の筆記試験の結果を 100%として評価する。</p>		
使用教材	テキスト	完全版 ベッドサイドを科学する -看護に生かす物理学- (学研メディカル秀潤社)		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法				
履修上の留意点		<p>授業の進め方</p> <p>授業は、中等教育の物理学 I・II や力学 I・II (力の合成、トルクなど)、数学(三角関数)の知識を用いて講義を進める。教材提示装置を用いて、教科書及び配布教材をプロジェクターで教室正面のホワイトボードに映して効率よく授業を進める。時には既成品の血圧計、体温計、放射温度計、レーザー長さ測定器等を持ち込み、装置の測定原理、仕様、測定法を分かり易く説明する。或いは講義の説明を助ける実験装置、または動画ソフト等を導入して分かり易く授業を進めていく。ほぼ毎回のように宿題を出します。宿題は A4 サイズのレポート用紙を縦向きで記入・作成して下さい。宿題の提出は次の授業の開始前にクラスごとに集めて提出して下さい。</p>		

科目区分	基礎分野	科目名	情報科学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	①佐伯圭一郎 ②品川佳清	実務経験 関連資格	①大分県立看護科学大学 健康情報学 教授 ②大分県立看護科学大学 健康情報学 准教授		
目 的	社会における情報化進展およびコンピュータの役割や、仕組みとその利用方法について理解する。				
目 標	1. コンピュータやネットワークに関する基礎的な用語を理解する。 2. 医療機関における個人情報保護のための対策・対応について理解する。 3. 情報セキュリティにまつわる危険を理解し、トラブルを事前に回避する方法を理解する。 4. インターネットや文献データベースを用いて、精度の高い検索方法を理解する。 5. 統計的データの適切な理解と基本的処理について理解する。			DPへの対応	
				DP3,4,5,6	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	情報のさまざまな特徴を理解し、現代社会と医療現場における情報の適正な活用の意義を説明できる	テキスト 配付資料	テキストの対応部分を予習すること	
	授業予定	情報の定義と特徴			
第 2 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	コンピュータのハードウェアについて説明できる	"	"	
	授業内容	情報機器・情報システムの基礎知識(1)コンピュータの仕組み			
第 3 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	ソフトウェアやネットワークの仕組みについて説明できる	"	"	
	授業予定	情報機器・情報システムの基礎知識(2)ネットワークやアプリケーションソフトの仕組み			
第 4 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	個人情報の保護に関するルール、情報倫理の原則を説明できる	"	"	
	授業予定	個人情報の保護・情報倫理			
第 5 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	情報セキュリティを脅かす事例を知り、セキュリティ技術の概要を説明できる	"	"	
	授業予定	情報セキュリティ(1)セキュリティ技術			
第 6 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	セキュリティ対策の具体的内容を説明できると共に、実践できる態度を身につける	"	"	
	授業予定	情報セキュリティ(2)セキュリティ対策			
第 7 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	医療現場で利用されている各種情報システムについて説明できる	"	"	
	授業予定	医療における情報システム(1)			
第 8 回 〔講義〕 (品川)	到達目標	電子カルテシステムや看護情報システムの仕組みと利用法を説明できる	"	"	
	授業予定	医療における情報システム(2)			
第 9 回 〔講義〕 (佐伯)	到達目標	文章やスライドの上手な作成法や、プレゼンテーション・ネットワークへの情報発信の適切な行い方を説明できる	"	"	
	授業予定	文章の作成・情報発信の技法			
第 10 回 〔講義〕 (佐伯)	到達目標	基本的な調査や実験のデザインと進め方について説明できる	"	"	
	授業予定	調査や実験によるデータ収集			
第 11 回 〔講義〕 (佐伯)	到達目標	統計学の前提となる確率や統計学の基本概念を理解し、説明できる	"	"	
	授業予定	統計データ解析(1)確率・統計の考え方			
第 12 回 〔講義〕 (佐伯)	到達目標	記述統計の手法の主要なものを説明できる	"	"	
	授業予定	統計データ解析(2)記述統計			
第 13 回 〔講義〕	到達目標	推測統計の基本的な理論を説明できる	"	"	
	授業予定	統計データ解析(3)推測統計の基礎			

(佐伯)				
第 14 回 〔講義〕	到達目標	基本的な推測統計の手法が説明でき、検定結果を適切に読み取ることができる	〃	〃
	授業予定	統計データ解析(4)推測統計各論		
第 15 回		まとめ 終講試験 (50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座「看護情報学」医学書院		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおきましょう。		
履修上の留意点		課題にきちんと取り組んでください。		

科目区分	基礎分野	科目名	情報科学演習	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
担当教員	佐伯圭一郎	実務経験 関連資格	大分県立看護科学大学 健康情報学 教授		
目 的	コンピュータを情報処理および管理の道具として使いこなす方法を理解し、コミュニケーションや学習の道具、さらに、看護研究に必要な統計処理の基礎知識について学び、実際にコンピュータを使った処理技術を理解する。				
目 標	1. ネットワークの利用方法を理解する。 2. ファイル管理と文書作成について理解する。 3. 表計算、プレゼンテーション、統計処理の基礎を理解する。			DP への対応 DP3,4,5,6	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	基本的な操作のスキルと知識を身につけ、安全確実にコンピュータ作業を行うことができる	テキスト、 配付資料	テキストの対応部分を予習すること、また「情報科学」の講義の対応部分を復習しておくこと	
	授業予定	コンピュータ操作の基礎			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	インターネットやイントラネット利用の基本知識を深め、安全にネットワークサービスを利用できる	”	”	
	授業内容	ネットワークの利用(1)ネットワークの仕組みと基本			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	ウェブ検索を効率よく行う技術を身につける、データベースの仕組みが説明できる	”	”	
	授業予定	ネットワークの利用(2)情報検索の技術、データベース			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	各種文献データベースを理解し、学术论文を検索するための基本的記述を身につける	”	”	
	授業予定	ネットワークの利用(3)文献データベース			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	基本的な文書作成・編集操作を身につけ、罫線を用いた表を作成できる	”	”	
	授業予定	文書作成(1)Word による文書作成の基本と作表			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	図なども組み込み、全体の構成も考慮した文書作成ができる	”	”	
	授業予定	文書作成(2)Word による表現力のある文書作成			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	パワーポイントの基本操作を行える	”	”	
	授業予定	プレゼンテーション(1)パワーポイントの基本			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	動画や写真などを加工したプレゼンテーションを作成できる	”	”	
	授業予定	プレゼンテーション(2)画像・動画処理			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	表計算ソフトにおけるデータ入力や作表などの基本操作ができる	”	”	
	授業予定	表計算(1)Excel の基本操作			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	表計算ソフトで計算式や関数を使って、データを加工できる	”	”	
	授業予定	表計算(2)計算・関数の利用			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	数値による要約やグラフによる 1 変数の記述統計を実践できる	”	”	
	授業予定	表計算(3)Excel による記述統計 1			
第 12 回 〔講義〕	到達目標	数値による要約やグラフによる 2 変数の記述統計を実践できる	”	”	
	授業予定	表計算(4)Excel による記述統計 2			
第 13 回 〔講義〕	到達目標	基本的な推定・検定の手法を表計算ソフトで行える	”	”	
	授業予定	表計算(5)Excel による推測統計			
第 14 回 〔講義〕	到達目標	表計算、プレゼンテーション、文書作成のソフトウェアを連携させ、活用することができる	”	”	
	授業予定	ソフトウェアの連携／総合演習			

第 15 回		まとめ 終講試験 (50 分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座「看護情報学」医学書院		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		IT化の進展は、医療・看護の現場において、患者の所見や検査結果、看護データなどが、電子データとして日常的に蓄積され、いつでも、だれでも、容易に利用できるようになりました。情報リテラシーをしっかりと学習しましょう。		
履修上の留意点		提示した課題には、しっかり取り組んでください。		

科目区分	基礎分野	科目名	社会学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	松森 武嗣	実務経験 関連資格	長崎県立大学 非常勤講師 (元) 別府大学 文学部 史学・文化財学科 教授		
目 的	社会の仕組みや構成を理解し、社会的存在としての人間について理解し、社会をさまざまな角度からとらえることで、人々の多様性を認め、多様な人々が生きやすい社会について学ぶ。				
目 標	1. 社会の仕組みや構成を理解する。 2. 社会の現実を客観的に理解する。 3. 人々の多様性を認め、多様な人々が生きやすい社会について理解する。			DP への対応 DP1,2,3,5	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	授業概要の説明、戦前の日本社会の特徴を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（生活の基本的単位、相互扶助など）	
	授業予定	授業概要の説明、日本社会の変容(1)戦前を説明する。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	戦後～1970 年代の日本社会の特徴を理解する。		課題にきちんと取り組む（生存権、農地改革など）	
	授業内容	日本社会の変容(2)戦後～1970 年代を説明する。			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	1980 年代以降の日本社会の特徴を理解する。		課題にきちんと取り組む（都市社会の変容など）	
	授業予定	日本社会の変容(3)1980 年代以降を説明する。			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	コミュニティの意味を理解する。		課題にきちんと取り組む（概念の内容、コミュニティの類型など）	
	授業予定	コミュニティの定義、都市コミュニティの理論などを説明する。			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	コミュニティ形成と社会参加を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（中央社会福祉審議会の答申など）	
	授業予定	コミュニティ形成と社会参加を説明する。			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の基本理念(1)普遍化、統合化を理解する。		課題にきちんと取り組む（授業の復習など）	
	授業予定	地域福祉の基本理念(1)普遍化、統合化を説明する。			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の基本理念(2)住民主体の原則、生活の共同化を理解する。		課題にきちんと取り組む（授業の復習など）	
	授業予定	地域福祉の基本理念(2)住民主体の原則、生活の共同化を説明する。			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の内容を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（5つの具体的内容など）	
	授業予定	地域福祉の内容を説明する。			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の対象を理解する。		課題にきちんと取り組む（地域問題としての生活問題など）	
	授業予定	地域福祉の対象を説明する。			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	高齢者福祉の理念と沿革を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（老人福祉法など）	
	授業予定	高齢者福祉の理念と沿革を説明する。			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	高齢化の現状と将来を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（高齢化の特徴など）	
	授業予定	高齢化の現状と将来を説明する。			
第 12 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の構成(1)－在宅福祉・環境改善サービス－を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む（在宅福祉サー	

	授業予定	地域福祉の構成(1)－在宅福祉・環境改善サービス－を説明する。		ビスの類型化など)
第 13 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の構成(2)－組織化活動、共同募金・福祉基金－を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む(介護・施設の社会化など)
	授業予定	地域福祉の構成(2)－組織化活動、共同募金・福祉基金－を説明する。		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	地域福祉の主体－ボランティア活動、社協－を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り組む(ボランティア活動の特質など)
	授業予定	地域福祉の主体－ボランティア活動、社協－を説明する。		
第 15 回		まとめ 終講試験		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト			
	参考図書	系統看護学講座 基礎分野 社会学		
	その他	配布資料		
授業以外の学習方法		社会の仕組みや構成について学んだことを今の自分にあてはめて、人間の行動や、人と人との関係性を社会的に理解していきましょう。		
履修上の留意点		基礎分野の人間と生活・社会の理解に位置付けられています。様々な角度から人間をとらえ、多様な人々の生きやすい社会について考えていきましょう。		

科目区分	基礎分野	科目名	文化人類学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	針塚 瑞樹	実務経験 関連資格	別府大学 文学部 教職課程 准教授		
目 的	文化人類学の基本的な考え方を学習することで、人間の物の見方や行動様式の多様性を理解すると同時に、自分が準拠する社会において当たり前となっている考え方を、一步距離をおいて見つめ直す視点の獲得を目的とする。人によって異なる背景や志向を理解し、尊重する看護実践を重んじる態度の獲得を目指す。				
目 標	1. 「文化」の普遍性と多様性を理解する。 2. 自分にとっての「当たり前」が他者にとっての「当たり前」と異なることを理解する。 3. 他者を尊重するとはどういうことかについて、話し合い、考えを深める。			DP への対応 DP1,2,4,5	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準備学習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	文化という概念について説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	授業の進め方について 文化を学ぶ意義について話し合い、理解を深める			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	文化人類学の学問的特質を説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業内容	文化人類学とはどのような学問であるか理解し、現代社会において文化人類学を学ぶことの意義はどのようなものかについて考える。			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	質的研究とはどのような研究の手法であるか説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	他者を理解するための手法としての質的研究の特徴を理解する。			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	エスノグラフィーとはどのような研究の手法であるか説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	エスノグラフィーの研究の視点と方法について理解する。			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	家族の機能・類型とその変化について説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	家族の機能と類型、その変化について理解する			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる①	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について考え、議論する①			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる②	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について考え、議論する②			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	文化人類学における宗教概念について説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	「宗教」という言葉が幅広い思想や実践を含むことを理解する。			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	トランスナショナルという時代状況と、宗教に対する理解の重要性について説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	トランスナショナル時代状況において、宗教に対する理解が重要である理由について話し合い、理解する。			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	病気を認識する様式があるとはどういうことか説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	病気の認識についての普遍性と多様性について理解する。			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	医療体系について病気の観念と治療の制度の観点から説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題 に取り組む。	
	授業予定	社会によって異なる病気の観念と医療の制度が関連づけられ体系化された医療制度のなかで、病気と医療の現象化することを理解する			
第 12 回	到達目標	病気や障害を環境に対する適応/不適応という視点から説明	テキスト	指示した予習や課題	

〔講義〕		できる	配布資料	に取り組む。
	授業予定	発達障がい事例に基づき、障害の個人モデルと社会モデルの見方を理解する。		
第13回 〔講義〕	到達目標	「いのち/生命」の認識や表現が文化により異なることを説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題に取り組む。
	授業予定	生物が生きていることには、客観的な領域と主観的な領域があり、それらに価値の考え方が関連することを理解する		
第14回 〔講義〕	到達目標	「いのち/生命」のはじまりや存在に関する認識が、文化や時代状況によって変化することを説明できる	テキスト 配布資料	指示した予習や課題に取り組む。
	授業予定	事例に基づき「いのち/生命」の誕生をどのように認識するのかは、人々の規範や技術の発展の相互作用により変化することを理解する		
第15回		まとめ 終講試験（50分）		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第28条に規定する評価基準に準ずる。 方法：コメント40点、筆記試験60点として評価を行う。60点未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院		
	参考図書	授業中に提示する。		
	その他	毎授業後に授業の内容に関して考えたことをできるだけ具体的にコメントする。		
授業以外の学習方法		授業の前に、教科書の該当箇所を精読し、疑問に思うところや興味深いところを把握する。		
履修上の留意点		授業は授業者と受講生と一緒につくるものです。対話をしながら一緒に良い授業をつくりましょう。		

科目区分	基礎分野	科目名	心理学	単位	1単位
対象学年	1学年	学期	後期	時間	30時間
担当教員	麻生 良太	実務経験 関連資格	大分大学 教育学部附属教育実践総合センター 教授		
目的	この授業では、はじめに基礎的な分野で従来積み上げられてきた研究を概観し、基礎的な心理学事実を関連付け統合し、実際の看護や臨床の場面で、どのように対応すべきか、また、実際になされているかについて学ぶ。				
目標	1. 心理学の概要について理解する。 2. 実際の看護や臨床の場面でどのように対応すべきかについて理解する。			DPへの対応 Dp1,2	
授業回数 〔方法〕	内容		使用教材	授業に関する 準備学習	
第1回 〔講義〕	到達目標	心理学の概要について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	ガイダンス 心理学とはを説明する。			
第2回 〔講義〕	到達目標	感覚と知覚の関係について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業内容	感覚と知覚の関係について説明する。			
第3回 〔講義〕	到達目標	知覚された世界、ゲシュタルト心理学について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	知覚された世界、ゲシュタルト心理学を説明する。			
第4回 〔講義〕	到達目標	空間・時間の知覚、対人知覚について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	空間・時間の知覚、対人知覚について説明する。			
第5回 〔講義〕	到達目標	学習と記憶、条件反射について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	学習と記憶、条件反射について説明する。			
第6回 〔講義〕	到達目標	記憶のメカニズム、記憶の種類について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	記憶のメカニズム、記憶の種類について説明する。			
第7回 〔講義〕	到達目標	感情・情緒・情動について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	感情・情緒・情動について説明する。			
第8回 〔講義〕	到達目標	動機の種類、情緒、情動について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	動機の種類、情緒、情動について説明する。			
第9回 〔講義〕	到達目標	情の役割、相互主体性について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	情の役割、相互主体性について説明する。			
第10回 〔講義〕	到達目標	精神発達のプロセス(1):ピアジェの認知発達理論について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう	
	授業予定	精神発達のプロセス(1):ピアジェの認知発達理論について説明する。			

第 1 1 回 〔講義〕	到達目標	精神発達のプロセス(2):フロイト、エリクソンの心理・社会的発達理論について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう
	授業予定	精神発達のプロセス(2):フロイト、エリクソンの心理・社会的発達理論について説明する。		
第 1 2 回 〔講義〕	到達目標	発達障害と適応についてについて理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう
	授業予定	発達障害と適応についてについて説明する。		
第 1 3 回 〔講義〕	到達目標	健康と病気について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう
	授業予定	健康と病気について説明する。		
第 1 4 回 〔講義〕	到達目標	看護職と心理学について理解する。	テキスト 配布資料	指示した予習、復習、課題についてきちんと取り組みましょう
	授業予定	看護職と心理学について説明する。		
第 1 5 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		人間の心の働きについて幅広く学びます。看護援助と密接に関係しています。日頃から、人間の心理について考えましょう。		
履修上の留意点		心理学は、皆さんにとって身近な学問です。学んだ理論を自分に置き換えながら学習していきましょう。		

科目区分	基礎分野	科目名	看護生物学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	西村 靖史	実務経験 関連資格	別府大学 文学部 人間関係学科 教授		
目 的	生命現象の基礎を理解し、生物学の基礎的知識の習得と生物学をとおして人について考える視点について学ぶ。				
目 標	1. 細胞の構造と機能、生命とエネルギー、遺伝子の働き、個体発生といった生物体内にみられる生命のミクロな現象について理解する。 2. 生態系や進化などのマクロな現象について理解する。			DP への対応	
				DP3	
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	生物や生命、生命観についての変遷を学び、生命の特徴と生命科学について理解する		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	生命観とその変遷 生命と生物学 看護・医療の基礎科学としての生物学			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	生命体の構造と機能について理解する		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業内容	生物学における構造と機能 細胞とその構造、細胞の化学成分、細胞膜の輸送 細菌とウイルス			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	生体維持のエネルギーについて生化学的機能について理解する		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	生体寧の化学反応 ATP の生合成			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	細胞の増殖とからだのなりたちについて理解する #01		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	細胞分裂 細胞の分化と個体のなりたち 細胞の老化			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	遺伝情報とその伝達・発言の仕組みについて理解する #01		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	遺伝の法則と染色体 遺伝情報の担い手 (DNA) DNA の複製			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	遺伝情報とその伝達・発言の仕組みについて理解する #02		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	遺伝情報の伝達 (RNA) タンパク質の合成 (翻訳) 遺伝子組み換え技術とゲノムの構造解析方法、変異			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	遺伝情報とその伝達・発言の仕組みについて理解する #03		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	ヒトの遺伝 遺伝子組み換えの応用			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	生殖と発生のメカニズムを理解する		テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	無性生殖と有性生殖 動物の授精と発生、哺乳類の発生			

第 9 回 〔講義〕	到達目標	個体の調節機能について理解する	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	ホメオスタシス 各器官系の働き（呼吸、消化、循環、免疫、排出） 神経性相関、液性相関、無脊椎動物のホルモン		
第 10 回 〔講義〕	到達目標	刺激の受容と行動の関係について理解する #01	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	神経系における情報処理、環境の情報とその受容 神経系の情報伝達		
第 11 回 〔講義〕	到達目標	刺激の受容と行動の関係について理解する #02	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	神経系の系統的発達、効果器のはたらき 行動		
第 12 回 〔講義〕	到達目標	生命の進化と多様性について理解する	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	化学進化と生命の起源、生物の多様化と絶滅の歴史 生物の分類と系統、ヒトの起源と進化、進化の仕組み		
第 13 回 〔講義〕	到達目標	生物と環境のかかわりについて理解する	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	生物の集団、動物の社会、生態系の経済、 生態系の物質循環		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	地球環境とヒトの共存について理解する	テキスト	・教科書の指定部分を 事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
	授業予定	人間活動による環境への影響、生物多様性の保全		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 生物学：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		高校で生物を選択しなかった人は、高校の教科書や参考書で事前に基礎的知識を学習しておくことがのぞましいです。		
履修上の留意点		専門基礎分野の解剖生理学を学ぶための基礎的知識を学習する科目です。人間の体の仕組みについて関心を持ち、生きていくための体の部分と全体の働きを学びましょう。		

科目区分	基礎分野	科目名	感性の哲学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	清岡 佳子	実務経験 関連資格	病院における看護師、助産師経験 別府市医師会立別府青山看護学校教員		
目 的	感性の働きを身体的及び精神的次元から理論的に学び、さらに感性が社会的にどのような意味を持ち、表現されているかを理解し、看護実践の基礎知識として修得し、看護活動に役立つかについて考察する。さらに、さまざまな議論を通して感性の視点で人間の社会性について、感性活動を浮彫りにしていくことを目的とする。				
目 標	1. 自分自身の感性に気づき、自分自身の経験に感性的理論づけを行うことができる。 2. 私たちの行動場面から感性についてリフレクションし、感性の視点から個別性を理解する。 3. 人間としての社会性を感性の視点から捉えてみる。			DP への対応 DP1,2 DP6 DP4	
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	ガイダンス: 感性の概要について理解する。(感性とは、感性の働き)		パソコン使用 論文:感性について (倉橋重史) カントの感性	今の自分が思うあるいは、考える感性について表現できるよう学習する。本授業がどのように展開するのか、シラバスから概要を理解しておく。
	授業予定	私たちは、「感性を通じて世界に開かれていることを具体的に知覚・触覚・痛みなど身体的次元から、感情や気分など精神的次元に至るまで、感性の働きを理論的に理解し、社会の中で感性がどのような意味を担わされているか、表現されているかを述べることができる。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	1. 感性の人体的側面の働きについて説明できる 1) 受容器と感覚情報についての理解。 (五感)及び平衡感覚、内臓感覚 2. 人の感性の違いについて説明できる		難し人の育つ方・活かし方 感性について	人間の受容器としての解剖生理について復習しておく。
	授業内容	1. 感性の人体的側面の働きについて理解する。 2. 感性と感覚器及び受容器について説明できる。自分自身の感覚を作動させてみる。視覚に焦点をあててみる			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	視覚と感性(視覚と感覚器、「みる」の多様性、言語表現:見かけ)について説明できる。		山上宋二記 「茶道辞典	見ると観察を関連づけて学習しておく。
	授業予定	鑑賞の見る力、見ることの意味を事例をとおして「見える」ということについて説明できる。相手のことがどのようにみえるかについて、ナイチンゲールの相互性の中での見えるについて考えることができる。(「目利き」とは?)			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	聴覚と感性(聴覚と感覚器、「きく」の多様性について説明できる。言語表現:馬の耳)について説明できる。		資料配布	きくと、コミュニケーションについて学習しておく。
	授業予定	「心臓といのち」について感性論の視点でグループ討議			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	触覚と感性(触覚と感覚器、「ふれる」の多様性)について説明できる。		資料配布	触れるとフィジカルアセスメントの関係について学習しておく。
	授業予定	触れて感じるメカニズムについて、触覚が人間へ及ぼす影響について理解する。			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	嗅覚と感覚器(「におう」の多種)について説明できる。		資料配布	臭うと看護との関係について学習しておく。
	授業予定	嗅覚のメカニズムについて、嗅覚が人間へ及ぼす影響について述べることができる。			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	味覚と感覚器について説明ができる。		資料配布	味覚と看護との関係について学習しておく。
	授業予定	味覚のメカニズムと味覚の多様性について説明できる。			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	平衡感覚と受容器について説明できる。		資料配布	平衡感覚と看護との関係について学
	授業予定	平衡感覚のメカニズムについて説明できる。体感バランス			

		とることの感性の視点		習しておく
第 9 回 〔講義〕	到達目標	1. 人の感性とコミュニケーションについて考えることができる。 2. 「言葉のケア」を深めることの意義について説明ことができる。	①シュラーの共感 研究感性とは。 ②ネット「チルドケアの言葉」	言葉とコミュニケーションを関係づけて学習しておく。
	授業予定	患者中心のチーム医療でのコミュニケーションについて		
第 10 回 〔講義〕	到達目標	感情論と気分と日常性について説明できる。	資料配布	自分の感情。気分について向き合ってみる。
	授業予定	身体メカニズムと感情との関係、日常生活と感情の変化		
第 11 回 〔講義〕	到達目標	感性の連続性と非連続性の問題について説明できる。感性の社会・環境的側面について説明できる	資料配布 感性の研究	人と人との絆と感性がどのように関係について学習しておく。
	授業予定	人と人をつなぐものについての感性		
第 12 回 〔講義〕	到達目標	感性の実践的ケアについて理解できる。五感とセルフケア、色彩、アロマなど生活に取り入れ、五感に働きかけ、体の声を聞くことができる。	資料配布 WHOのセルフケア	
	授業予定	Q「個々のセルフケアについて。」演習		
第 13 回 〔講義〕	到達目標	感性の感度をたかめる方法について理解し、取り組むことの必要性について説明できる。	資料配布	
	授業予定	感性能力を高めるための方法を身につける。みる、きく、ふれる、臭う、味わう、痛み、かゆみなど表現することなどからだ全体を使った感性の磨き方について体験する。		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	全体まとめ：プロセスレコードによる感性のトレーニング	資料配布	感性力を磨く道具としてプロセスレコードの活用について学習しておく。
	授業予定	知覚（対象が表現したこと、私が感じたり、思ったこと、私が話したり、行ったことを記述）		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		筆記試験の準備をしておく。
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第28条に規定する評価基準に準ずる。 方法：筆記試験100点満点で、60点以上を合格とします。評価基準は、GPAを参考とし、筆記試験80%、授業態度や課題レポートを20%として評価します。		
使用教材	テキスト	授業は配布した資料を使用します。		
	参考図書	参考図書は授業ごとに提示します。		
	その他			
授業以外の学習方法		解剖生理や人間関係論、看護概論と関連付けて学習し、看護実践で感性力を磨いていけるよう学習してください。		
履修上の留意点		授業の出席日数が、3分の2以下の場合は、筆記試験を受ける資格がありません。また、授業中の態度や課題レポートは、20%の評価となっています。提出期限を守ってください。		

科目区分	基礎分野	科目名	人間関係論 I	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	15 時間
担当教員	古城 和敬	実務経験 関連資格	放送大学 大分学習センター 所長 (特任教授) 大分大学 名誉教授		
目 的	人間関係の諸相をグループワークをとおして体験し、理解する。				
目 標	1. 人間関係や集団過程の諸相を理解できる。 2. グループワークをとおしてリーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働を理解できる。			DP への対応	
				DP1 DP5	
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	1. 社会心理学や集団力学の知見から、人間関係や集団過程の諸相の一端を理解する。		配布資料「人間関係論課題プリント1」	課題学習
	授業予定	1. オリエンテーション 2. 人間関係論とは何か－社会心理学や集団力学の知見から			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワーク(KJ法)をとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題学習
	授業内容	1. グループワークの意義と目的 2. グループワークの進め方 3. グループワークの実践 (課題提示、ラベルづくり①)			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題学習
	授業予定	グループワークの実践 (ラベルづくり②)			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題学習
	授業予定	グループワークの実践 (ラベル集め、表札づくり①)			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題学習
	授業予定	グループワークの実践 (ラベル集め、表札づくり②、空間配置)			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題学習
	授業予定	グループワークの実践 (図解化①、文章化①)			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題レポートの作成
	授業予定	グループワークの実践 (図解化②、文章化②)			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	1. グループワークをとおして人間関係や集団過程の諸相(リーダーシップやメンバーシップ、集団のまとまり、協働)を体験し、理解する。		配布資料 「KJ法の実習」	課題レポートの作成
	授業予定	1. グループワークの実践 (グループによる口頭発表と質疑応答) 2. 授業のまとめ			
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 :			

		課題レポート 70% 口頭発表と図解化作品 20% 授業への積極的参加（質疑応答）10% 計 60%未満は再試験とする。
使用教材	テキスト	
	参考図書	
	その他	
授業以外の学習方法		普段より人との関係性づくりについて関心を持ち、よりよい人間関係とは何かを考えましょう。
履修上の留意点		グループワークで自分の意見を述べ、相手の考えを聴くなど、グループ・ディスカッションの方法を学びましょう。

科目区分	基礎分野	科目名	人間関係論Ⅱ	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	後期	時 間	30時間
担当教員	榊原 有紀	実務経験 関連資格	別府大学 文学部 人間関係学科 講師 臨床心理士 公認心理士		
目 的	看護における患者との関係、医療現場での同僚や多職種連携をはかるためのコミュニケーションの持ち方を学び、円滑な人間関係を構築する能力を身につける。				
目 標	1.自己理解、他者理解について理解する。 2.アサーティブな自己表現について理解する。 2.傾聴スキルを理解する。			DP への対応 DP1,4	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	コミュニケーションの機能・目的について理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	関係の存在としての人間について説明する。 さまざまなコミュニケーションについて説明する。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	自己理解、他者理解を促進し、関係の自己を体験する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業内容	自己理解、他者理解視点の重要性について説明を行い、コミュニケーションの体験的学習を行う。			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	人間関係と援助的コミュニケーションについて理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	態度と対人行動について説明する。 援助行動の心理的基盤について説明する。			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	闘病を支える人間関係を理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	闘病を支える者としてのコミュニケーションの在り方や人間関係構築の視点を体験的に学ぶ。			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	看護師としてのアサーションの理論とスキル	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	ナースになぜアサーションが必要かを説明する。 DESC 法の説明をする。			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	アサーティブコミュニケーションの看護への応用	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	アサーティブナースになるにはどうしたらよいかを説明する。 アサーティブコミュニケーションの体験学習。			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	保健医療チームの人間関係について理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	医療におけるチームと看護師の役割について説明する。 他職種連携について説明する。			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	チームにおけるコミュニケーションエラーを理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	コミュニケーションエラーの体験的学習を行う。			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	患者心理を理解する視点を育む。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	患者体験について説明する。 看護理論にみる患者・看護師関係を説明する。			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	受容と傾聴について理解を深める。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	他者の話を聴くことについて考え、体験する。			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	傾聴スキル(1)共感的理解について理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	患者の話を共感的に聴くために必要な視点の説明をする。			
第 12 回 〔講義〕	到達目標	様々な病状の患者心理を受容し、傾聴する意義を体験的に理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題 にきちんと取り組み ましょう	
	授業予定	慢性疾患の患者、人間関係構築が難しい患者の心理を説明、対応について考える(受容、傾聴、関係性構築)。			
第 13 回	到達目標	ロールプレイを理解する。	テキスト、	指示した予習や課題	

〔講義〕	授業予定	患者の家族を含めた人間関係を説明し、ロールプレイを用いた体験的学習を行う。	配付資料	にきちんと取り組みましょう
第 14 回 〔講義〕	到達目標	看護師としての自己像について体験的に理解する。	テキスト、 配付資料	指示した予習や課題にきちんと取り組みましょう
	授業予定	ロールプレイを用いた体験的学習を行い、看護師としての自己理解を深める。		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		看護師は看護手技のほかに、対人コミュニケーションのなかから他者を理解する視点が求められます。自分自身のことも大切にしたいよりよい看護実践のために、授業内で知ったことを日常にも活用してほしいと思います。		
履修上の留意点		素朴な疑問を大拙にし、心に浮かんだ質問を遠慮なくしましょう。		

科目区分	基礎分野	科目名	医療英語	単位	1単位
対象学年	1学年	学期	後期	時間	30時間
担当教員	真部 健一	実務経験 関連資格	(元)別府大学 短期大学部 教授		
目的	国際化社会の進展に伴い、文化や言語の異なる人々とのコミュニケーションに必要とされる英語力の養成が求められている。本授業では、看護・医療の現場で必要とされる英語の語彙や専門用語、会話表現などの基礎的基本的な英語力を、リスニングやリーディング、対話練習等の活動をバランスよく学習することにより身につけることができる。				
目標	1.看護に関する英語の読み物や対話文を理解したり、場面に応じて簡単な英語で言いたいことを表現できるようになる。 2.看護や医療に関する語彙や英語表現を身につけるとともに、英語に対する興味関心が深まる。			DPへの対応 DP1,2,4	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準備学習	
第1回 〔講義〕	到達目標	1. 授業の目的、目標、内容、方法等について理解する。 2. 英語を通して看護の基本的なことを学習することに、興味を抱くようになる。	テキスト 配布資料		
	授業予定	ガイダンス 自己紹介等			
第2回 〔講義〕	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 3. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。 2. 英語辞書を活用する。 3. 次回の小テストの準備をする。	
	授業内容	Unit 1 May I help You? (p.1~p.3) ・初診受付の流れを学ぶ① ・症状を伝える基本の表現を学ぶ			
第3回 〔講義〕	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	テキスト 配布資料 小テスト	1. リーディング教材の内容理解に努め、設問に解答する。 2. 英語辞書を活用する。 3. 次回の小テストの準備をする	
	授業予定	Unit 1 May I help You?(p.4~p.5) ・初診受付の流れを学ぶ① ・症状を伝える基本の表現を学ぶ 受付・案内の英語表現(p.77)			
第4回 〔講義〕	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 3. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。 2. 英語辞書を活用する。 3. 次回の小テストの準備をする。	
	授業予定	Unit 2 Where do you live? (p.6~p.8) ・初診受付の流れを学ぶ② ・初診登録に必要な表現を学ぶ			
第5回 〔講義〕	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	テキスト 配布資料 小テスト	1. リーディング教材の内容理解に努め、以下の問いに解答する。 2. 語彙、表現の演習問題は英語辞書等を用いて調べる。	
	授業予定	Unit 2 Where do you live? (p.9~p.10) ・初診受付の流れを学ぶ② ・初診登録に必要な表現を学ぶ 受付・案内の英語表現(p.77)			
第6回	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理	

〔講義〕		<p>言えるようになる。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p> <p>3. 医療に関する英文の内容を理解する。</p>	配布資料 小テスト	<p>解に努め、表現問題の設問に解答する。</p> <p>2. 英語辞書を活用する。</p> <p>3. 次回の小テストの準備をする。</p>
	授業予定	<p>Unit 4 What Department Do You Want to Visit? (p.16~p.18)</p> <p>・患者を案内する</p> <p>・各診療科の名称を学ぶ</p>		
第 7 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 医療に関する英文の内容を理解する。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. リーディング教材の内容理解に努め、以下の問いに解答する。</p> <p>2. 語彙、表現の演習問題は英語辞書等を用いて調べる。</p>
	授業予定	<p>Unit 4 What Department Do You Want to Visit? (p.19~p.20)</p> <p>・患者を案内する</p> <p>・各診療科の名称を学ぶ (補助教材の活用)</p>		
第 8 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p> <p>3. 医療に関する英文の内容を理解する。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。</p> <p>2. 英語辞書を活用する。</p> <p>3. 次回の小テストの準備をする。</p>
	授業予定	<p>Unit 5 What Are Your Symptoms? (p.21~p.23)</p> <p>・患者の症状を聞く ・風邪症状の表現を学ぶ</p>		
第 9 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 医療に関する英文の内容を理解する。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. リーディング教材の内容理解に努め、以下の問いに解答する。</p> <p>2. 語彙、表現の演習問題は英語辞書等を用いて調べる。</p>
	授業予定	<p>Unit 5 What Are Your Symptoms? (p.24~p.25)</p> <p>・患者の症状を聞く ・風邪症状の表現を学ぶ</p> <p>病気の症状に関する表現の学習 (P.77~p.78/補助教材の活用)</p>		
第 10 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p> <p>3. 医療に関する英文の内容を理解する。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。</p> <p>2. 英語辞書を活用する。</p> <p>3. 次回の小テストの準備をする。</p>
	授業予定	<p>Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.26~p.28)</p> <p>・薬の処方について学ぶ ・服薬指示の表現を学ぶ</p>		
第 11 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 医療に関する英文の内容を理解する。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. リーディング教材の内容理解に努め、以下の問いに解答する。</p> <p>2. 語彙、表現の演習問題は英語辞書等を用いて調べる。</p>
	授業予定	<p>Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30)</p> <p>薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活用)</p>		
第 12 回 〔講義〕	到達目標	<p>1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。</p> <p>2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。</p> <p>3. 医療に関する英文の内容を理解する。</p>	テキスト 配布資料 小テスト	<p>1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。</p> <p>2. 英語辞書を活用</p>
	授業予定	<p>Unit 8 What Kind of Pain Is it? (p.36~p.38)</p>		

		・外科診療の流れを学ぶ ・痛みを表す表現を学ぶ		する。 3. 次回の小テストの準備をする。
第 13 回 〔講義〕	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 3. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。 2. 英語辞書を活用する。 3. 次回の小テストの準備をする。
	授業予定	Unit 9 Ley's Check Your Daily Activities (p.41~p.43) ・問診の流れを学ぶ ・生活習慣を伝える表現を学ぶ		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 3. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理解に努め、表現問題の設問に解答する。 2. 英語辞書を活用する。
	授業予定	Unit 10 Ley's Check Your Pulse and Blood Pressure? (p.46~p.48) ・診療前の計測を行う ・計測に関する表現を学ぶ 検査・診察に関する表現についての学習 (p.78~p.79)		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未滿は再試験とする。		
使用教材	テキスト	Check-Up! Basic English for Nursing 基礎から学ばやさしい看護英語：樋口昭彦/John Tremarco 著 金星堂		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		看護の現場で異文化間の人との交流を行うために必要な、基礎的・基本的な英語能力を身につける科目です。授業で学習した語彙や表現、対話文等については、何度も音読し暗唱するようにしてください。		
履修上の留意点		高校までに学習した英語の知識を活用し、読解力、聴解力、会話力の伸長を目指します。予習は必ず行って授業に臨んでください。英語の辞書は必ず持参してください。		

科目区分	基礎分野	科目名	スポーツ生理学	単 位	1単位
対象学年	1学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	長野 力	実務経験 関連資格	別府大学 健康センター所長 看護師養成所講師経験 健康運動指導士		
目 的	現代における健康のあり方について考察し、健康を保持・増進し、体力向上のための具体的方法について実践をとおして学ぶ。				
目 標	1. 健康生活を送るためにスポーツとの関係を理解する。 2. 体力向上のための具体的方法を理解する。				DP への対応 DP3
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	健康生活を送るためにスポーツとの関係を理解する。		配布プリント	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ガイダンス健康観の重要性、スポーツの意義、体力測定結果から考えることなどについて説明する。 健康度アンケート調査			
第 2 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業内容	ストレッチ体操、バレーボール			
第 3 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 4 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 5 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 6 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 7 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 8 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	自体重によるトレーニング方法のあり方や道具を使つての運動について実践及び理解する。			
第 9 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 10 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 11 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 12 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			
第 13 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。		体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	ストレッチ体操、バレーボール、バトミントン			

第 14 回 〔演習〕	到達目標	体力向上のための具体的方法を理解する。	体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
	授業予定	体力測定まとめ		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分) 健康度アンケート	体育館 必要器具 体操服準備	基本的な生活習慣を身につけること。
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	けんこうストレッチング 運動のすすめ（講師著）		
	参考図書			
	その他			
授業以外の学習方法		この科目は基礎分野の人間と生活・社会の理解に位置付けられています。生涯健康な生活が送れるよう実践をとおして創造と活用能力を養いましょう。		
履修上の留意点		自ら健康観を持ち、スポーツ文化に親しんでください。将来看護師として働くための基礎体力の向上に務めることができるよう理論と習慣を学んでください。その体験が他者の健康を考えることにつながります。		

